

飯田市 歴史ニュース



News-Letter NO.11

発行日 2004年8月3日

発行 飯田市歴史研究所

〒395-0002

長野県飯田市上郷飯沼3145

電話 0265-53-4670

ファクシミリ 0265-21-1173

E-mail iuhr@city.iida.nagano.jp

8月21日(土)・22日(日)

第2回地域史研究集会 開催迫る！

昨年の第1回地域史研究集会は、「語り継ぐ飯田・下伊那の歴史」をシンポジウムのテーマに秋開催しましたが、今年は「下伊那の国学」をテーマとして夏の開催とします。

飯田下伊那は、幕末期の国学に大きな影響を受けた地方です。その後、この地域では近代に至るまで、その思想が底流をなしてきたと言われています。

今回のシンポジウムでは、国学研究の第一人者、

国立歴史民俗博物館宮地正人館長を迎えての基調講演のほか、林登美人氏の報告など、国学を中心にした企画です。

また、2日目の研究報告会は、飯田下伊那に関する様々な分野にわたる報告を依頼し、盛りだくさんの内容となっています。

地域史研究を熱く語る2日間。飯田市追手町小学校講堂でお待ちしています。

プログラム

● 8月21日(土) シンポジウム『下伊那の国学』

- 13:30 ○記念講演「伊那の国学」
宮地 正人 (国立歴史民俗博物館 館長)
- 15:00 ○報告
「史料整理を通して垣間見た伊那谷の平田国学」
林 登美人 (前高森町歴史民俗資料館 館長)
- 15:45 ○コメント
小野 将 (東京大学史料編纂所 助手)
- ディスカッション

● 8月22日(日) 研究報告会

- 9:30 ○明治期下伊那の町村組合と学校
多和田真理子 (飯田市歴史研究所 調査研究員)
- 10:15 ○ローズさんを訪ねてー平岡ダム強制連行 元英軍捕虜ー
PEACE天龍 (天龍中学校3年生)
- 11:00 ○酒造株の移動にみる都市と農村ー近世飯田藩の場合ー
小川 好美 (愛知県半田市立博物館 学芸員)
- 13:20 ○信州にはじめて住んだ人びと
ー飯田市竹佐中原旧石器時代遺跡の発掘調査からー
大竹 憲昭 (長野県埋蔵文化財センター 主任調査研究員)
- 14:05 ○伊賀良村政をゆるがした中村学校問題
増田 喜邦 (中村史編さん委員会)
- 15:00 ○菱田春草と仏教画題ー「拈華微笑」についてー
楨村 洋介 (飯田市美術博物館 学芸員)
- 15:45 ○近世の人々の山境意識
ー下新井村・古城村・雲雀沢村天明山論を事例にー
前澤 健 (飯田市歴史研究所 調査研究員)
- 16:30 ○戦間期下伊那の地方行財政
ー「デモクラシー」との関係においてー
鬼塚 博 (飯田市歴史研究所 研究員)

会場内の催し

- アートパフォーマンス (インスタレーション)
現代パフォーマンス・アート作家北澤一伯さんによる追手町小学校講堂をモチーフにした作品展示
- ミニコンサート
21日 飯田交響楽団員の皆さんによる弦楽4重奏
22日 ソノールクラリネットアンサンブル
- 展示コーナー
歴史写真展、国学関連の展示を行います。
- 書籍販売コーナー

下伊那の国学

シンポジウム 8月21日(土)
午後1時～5時

記念講演 伊那の国学
国立歴史民俗博物館 館長 宮地 正人

報告 史料整理を通して垣間見た伊那谷の平田国学
前高森町歴史民俗資料館 館長 林 登美人

コメント 東京大学史料編纂所 小野 将

研究報告会 22日(日)
午前9時30分～午後5時30分

明治期下伊那の町村組合と学校
多和田真理子 (飯田市歴史研究所 調査研究員)

ローズさんを訪ねてー平岡ダム強制連行 元英軍捕虜ー
PEACE天龍 (天龍中学校3年生)

酒造株の移動にみる都市と農村
近世飯田藩の場合ー
小川 好美 (愛知県半田市立博物館 学芸員)

信州にはじめて住んだ人びと
ー飯田市竹佐中原旧石器時代遺跡の発掘調査からー
大竹 憲昭 (長野県埋蔵文化財センター 主任調査研究員)

伊賀良村政をゆるがした中村学校問題
増田 喜邦 (中村史編さん委員会)

菱田春草と仏教画題
ー「拈華微笑」についてー
楨村 洋介 (飯田市美術博物館 学芸員)

近世の人々の山境意識
ー下新井村・古城村・雲雀沢村天明山論を事例にー
前澤 健 (飯田市歴史研究所 調査研究員)

戦間期下伊那の地方行財政
ー「デモクラシー」との関係においてー
鬼塚 博 (飯田市歴史研究所 研究員)

第2回 飯田市地域史研究集会

会場 長野県飯田市追手町小学校講堂
参加費 500円 (資料代) ※高校生以下無料
主催 飯田市 飯田市教育委員会・歴史研究所・美術博物館・市立図書館

お問合せ 飯田市歴史研究所
〒395-0002 長野県飯田市上郷飯沼3145
電話 0265 (53) 4670
Eメール iuhr@city.iida.nagano.jp
ホームページ http://www.city.iida.nagano.jp/iuhr/

8月21日
22日
2004

研究員会議

一般公開による開催です。

○21日午前10時～正午

会場：りんご庁舎3階会議室

交流会

参加自由です。お気軽にご参加ください。

○21日午後6時～ 会場：パーネード口 (江戸町)

会費3,500円

第2回地域史研究集会
会場：追手町小学校講堂 (飯田市追手町)
参加費：500円 (資料代、2日間を通して)
主催：飯田市 飯田市教育委員会・歴史研究所・美術博物館・図書館

飯田アカデミア2004

本年度下半期の日程と講師の方々が決まりました。
講座タイトルは決まり次第改めてお知らせします。お楽しみに。

日 程	内 容	講 師
10月16日(土) 17日(日)	建築史、建築意匠	東京理科大学 工学部教授 伊藤 裕久さん
11月20日(土) 21日(日)	日本近世史	大阪市立大学 文学部教授 塚田 孝さん
12月18日(土) 19日(日)	日本近代経済史、地方都市論	和光大学 経済学部助教授 奥 須磨子さん
1月22日(土) 23日(日)	日本古代史、中央と地方の王権	東京大学 史料編纂所助教授 田島 公さん

★諸事情により、日程等が変更となる場合があります。「歴研ニュース」や市広報でお知らせして参りますので、ご注意ください。

★いずれの講座も90分間の講義を4回、2日間にわたって行ないます。

■時間

1日目(土曜日) 13:00~16:30
2日目(日曜日) 10:00~14:30

■会場

飯田市歴史研究所(飯田市上郷庁舎)
3F会議室

■募集人員 各講座30人

■受講料 資料代として500円(2日間分)

■お申し込み方法

電話、ファクシミリまたはEメールで、飯田市歴史研究所へお申し込みください。
※ファクシミリ、Eメールでのお申し込みは住所・氏名・電話番号を明記してください。

■お問い合わせ・お申し込み先
飯田市歴史研究所

飯田市歴史研究所年報②を発刊します

8月20日発刊!

目次

■シンポジウム

- ・語りつぐ飯田・下伊那の歴史
- ・自分史・地域史・国民史 中村政則
- ・下伊那から満州へ 齊藤俊江
- ・コメント 蘭 信三 / 松澤太郎

■論文

- ・森本家の手作経営と農業技術 多和田雅保
- ・両大戦間期下伊那地方の人口構成 田中雅孝

■研究ノート

- ・飯田藩における酒造人と酒造仲間 小川好美
- ・明治初期筑摩県における「小校」設置と近代学校への移行—飯田市域の事例—
多和田真理子

■調査報告

- ・清内路村長田屋(小池家)の文書調査記録の経過と概要 前澤 健
- ・学校史料所在状況調査の成果と課題
多和田真理子
- ・歴史的建造物調査 森本家住宅
東京大学大学院/伊藤毅研究室

■オーラルヒストリー

- ・農婦一筋にいきて—三石りゑさんに聞く
齊藤俊江

販売価格 1,300円

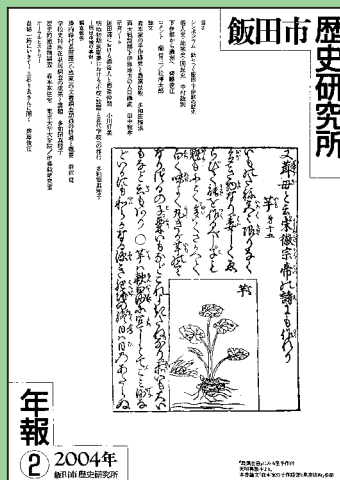
※飯田市歴史研究所、市役所行政資料コーナーのほか飯田市内書店でも販売。

※地域史研究会会場でも販売します。

※通信販売を希望される場合は、南信州新聞社(0265-22-3734吉川)までお問い合わせください。

2004年版歴史研究所年報の発刊準備を進めています。

この第2号では、第1回地域史研究会のシンポジウム「語りつぐ飯田・下伊那の歴史」を収録のほか、飯田下伊那を題材とした論文や調査報告を多数収録しています。



月例研究会

歴史研究所では月例研究会として、月に1度スタッフが研究内容を報告し、自由な意見交換を行っています。興味のある方はぜひご参加ください。

9月の月例研究会

日時 9月18日(土) 14:00~15:00
場所 歴史研究所3階(飯田市上郷支所)
報告 工場誘致と農村の変貌
—興亜電工と南部三町村—
本島和人(歴史研究所調査研究員)

※なお、8月は研究会開催のため、月例研究会はお休みです。

史料所在調査を開始します

飯田・下伊那地域の公共施設あるいは民家・民間団体などには、近世・近現代を中心に、大量の歴史資料が残されています。しかし、それらの多くは様々な理由によって日々廃棄され、あるいはこの地域から流出しつつあります。

特に戦後のものは歴史的な価値を持つ資料とみなされにくいいためか、この傾向が顕著だといえます。飯田市歴史研究所では、地域の大切な歴史資料をできるだけ多く後世に伝えるため、「下伊那地域における近世・近代史料の所在状況に関する悉皆的研究」というテーマで、歴史資料の所在情報を網羅的に調査します。

新たな歴史資料の所在情報はもちろん、すでに所在の確認ができているものも、伝来状況や所蔵の現状などを記録します。この調査を通じて、市民の方々に史料保存の必要性を呼びかけていくのが大きなねらいです。

今年は橋北・橋南地区(市街地)とその周辺を中心にすすめていきます。ご協力、よろしくお願いいたします。



歴研ゼミナール

新ゼミ生募集

身近な歴史を調べよう！
ジュニアゼミナール

対象 中学・高校生
隔週土曜日 午前10時～11時30分
担当 清水迪夫(歴史研究所調査研究員)

自分の住むこの地域にどのような歴史があったのかを、地域の資料を使って調べます。

- ①写真で学ぶ 下伊那の近代
下伊那の事件、産業、人物などについての写真をもとに、資料を集めて調べ、まとめます。
(例「飯田事件って?」「おかイコ様?」)
- ②ほくの・わたしの研究テーマ
飯田・下伊那の歴史(おもに近現代)について、いま興味を持っていること、知りたいことを調べます。
(例「おねりの歴史」「飯田線」)

資料を探して自分で読み、書いてまとめる、簡単に聞こえますが、ちゃんとやるのはむずかしいものです。その方法を一緒に学びましょう。

歴研ゼミナールだより

近世史ゼミ	6月22日	史料研究「平田派国学と本学神社の建立」	近現代史ゼミ	6月24日	聞き取り調査報告「子ども達の1930年代」
	7月6日	史料研究「女房質入証文ー上飯田村の事例ー」		7月8日	文献購読『戦後経験を生きる』(吉川弘文館、2003年)Ⅱ節1ほか
				7月22日	史料調査演習「大正時代の南信新聞を読み解く」

近世史ゼミ：隔週火曜日午後7時～
近現代史ゼミ：隔週木曜日午後7時～

★ゼミ生は随時募集しています。興味のある方はお気軽にお問合せください。

★お申し込み、お問い合わせは飯田市歴史研究所までご連絡ください。

子ども向け出版企画



歴史研究所では、JR飯田線をテーマとした子ども向け図書の出版を予定しており、現在その準備を進めています。

辰野～豊橋間195.8キロを走る飯田線の歴史や地域の人々との関わり、沿線の自然などを分かりやすく紹介する図書を出版する予定です。

この出版の中間報告を8月24日に行います。著者の吉田忠正さんに出版の内容や実際のページ構成などをご紹介いただき、市民のみなさんからご意見を伺いたいと思います。この説明会は公開で行いますので、関心のある方はお気軽にお問い合わせ下さい。

問合せ 歴史研究所 電話：0265(53)4670

歴研日誌 6月～7月

- 6月1日(火) 水戸市中崎一通氏から満州開拓関係資料の寄贈を受けました。
- 6月16日(水) いいだFM「伊那自由大学と下伊那郡青年会」(清水迪夫)放送
- 6月17日(木) 近現代史ゼミ
- 6月18日(金)
 - ・平岩静さん聞き取り調査
 - ・青島貞夫氏所蔵農業関係資料調査
- 6月19日(土)・20日(日) 飯田アカデミア2004第3講座「民衆の教育経験」を開催しました。講師は大門正克さん(横浜国立大学教授)
- 6月22日(火) 近世史ゼミ
- 6月24日(木) 近現代史ゼミ
- 6月25日(金)
 - ・歴史的建造物調査について連合自治会長会で説明、協力を要請
 - ・歴史的建造物調査について市文化財審議委員会に報告

- 6月26日(土)
 - ・月例研究会「近世島田「農業雑記」を読むー茄子栽培に関してー」(多和田雅保)
 - ・史料研究ノート(本島和人)
- 6月28日～7月8日 市行政非現用文書の移管(上郷歴史民俗資料館へ)
- 7月6日(火) 近世史ゼミ
- 7月8日(木) 近現代史ゼミ
- 7月10日(土)
 - ・プレシンプジウム読書会「国学からみる幕末の下伊那」開催
 - ・史料研究ノート(鬼塚博)
 - ・歴史研究活動助成申請締切り
- 7月13日(火) 原彰一氏日記史料調査
- 7月21日(水) いいだFM「農業雑記」にみる茄子の栽培技術(多和田雅)
- 7月22日(木) 近現代史ゼミ
- 7月23日(金) 川路支所史料調査
- 7月24日(土)・25日(日) 飯田アカデミア2004第4講座「昔の子育て・今の子育て」を開催しました。講師は田嶋一さん(國學院大学教授)

8～9月のスケジュール

8月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	近3	4	5	6	7
8	9	10	11	現12	13	14
15	16	17	18	19	20	研21
研22	23	子24	25	現26	27	28
29	30	近31				

9月						
日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	現9	10	11
12	13	近14	15	16	17	現18
19	20	近21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

※8月21日は研究集会のため臨時休所いたします。

□ 開所日 □ 休所日 (研) …研究集会

開所時間 午前9時～午後5時

休所日 日曜日、月曜日、祝日、年末年始(12月29日～1月3日)

近…近世史ゼミ

現…近現代史ゼミ

子…子ども向け出版中間報告

